

編集後記

本年はコロナ禍のニュースが世界を席卷していますが、同時に WHO の役割、ニュースに身近に接する機会が増えました。WHO からの COVID 対策の勧告、感染状況の情報、WHO の各委員会、総会などの一部も WEB 配信で視聴することもできました。また米国の WHO 拠出金の停止、2021 年 7 月に脱退する話題、COVID 対策が最も成功した台湾が WHO 加盟国ではなく、web 形式で開催の本年 WHO 総会に招待されなかったことなども話題となりました。

WHO に関連したてんかんの話題と、本誌でのてんかん関連の論文の話題の 2 件をご紹介します。1) 2015 年の WHO 総会で「てんかんは今後 10 年間で世界的に制圧すべき疾患」と決議されました。それを契機にアカデミア、患者団体、行政の積極的な取り組みが始まり日本では「てんかん地域整備事業」が厚労省本事業として各都道府県で開始されました。WHO はジュネーブ本部以外に、世界の 6 領域に Western Pacific, South East Asia, Europe, Africa, Pan American, Eastern Mediterranean の領域事務局があり、各地域に根ざした活動がされています。毎年 6 領域の会議

が秋に開催されますが、アジアは Western Pacific, South East Asia の事務局となります。領域会議では non state actors (NSA) (非国家団体) が毎年議題に沿った声明 (文書とビデオ) を提出して会議で取り上げられホームページから広報される企画があります。本年の Western Pacific の領域会議では、「てんかん制圧の行動指針決議」「てんかん外科の普及」が紹介されました*。Western Pacific 領域では事務局長として日本の葛西健先生が活躍されています。

2) 毎年本誌のてんかんに関する投稿論文数は順調に増加し、論文内容も大変充実してきています。最近の本誌の年間掲載論文数 (99~127 編) のなかでてんかん関連の割合は、53 巻 (2013 年) から 60 巻 (2020 年) まで、1%, 1%, 2%, 5%, 6%, 8%, 10%, 6% と推移しています。

今後も幅広い分野の投稿論文が本誌から社会に発信されることを切に願ひ、皆様からの投稿をお願いいたします。

(池田 昭夫)

*<https://extranet.wpro.who.int/rcm/ngostatements/agenda.aspx>

〈編集委員〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員 (幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第60巻 第11号 2020年11月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス : <http://www.neurology-jp.org/>